

医療安全教育セミナー 第2回 2015年9月26日 土曜日

5S活動を継続する -基本から応用-

「5S活動」を組織内に継続させる仕組みについて

各グループからの提言

医療安全教育セミナー第2回

「5S活動を継続する」では、約80名の参加者が、10Gに分かれて、それぞれの医療機関で、これから5S活動を行うにあたっての課題や提言について、活発な意見交換を行いました。

「5S活動は、医療・介護の場の改善活動」です。

皆様と共有し、より安全で働きやすい職場環境を考えて行きましょう。

1G

- * 全員参加で
 - * 誰がやるのか
 - * どこをやるのか
 - * いつするのか
- 決める

- * リーダーを決める
- * トップに方針を明確に決めてもらう

2G

- * 役割分担を明確にする
- * リーダーが実践すれば若い人が着いていく。
- * ルールをしっかり決める
- * チェックする人を決める
- * 5S活動日を決める
- * 院長を先頭に病院全体で5S活動をすると方針を決める

3G

- * 全員がルールを守る
- * 日常の業務として決められたことをする
- * 忙しさを言い訳にしない
- * 周知徹底
- * 新人教育
- * 災害もふまえあるべきものがきちんとあること
- * 助手さんとの協力・役割分担を行う

5S活動は医療・介護の現場を変える

4G

- * 役割分担を決めて継続できるようにする
- * 共通意識を持つ
- * 多忙で出来ないなら業務改善が必要
- * 時間がないは言い訳
- * 新しい提案・色々な意見を出し無駄なことに気がつけば改善となる

5G

他部署からの評価を得る仕組みを作ることによって「自分の部署だから」などの考えを取り除き病院全体で5S活動に取り組むことができる。

6G

- * スタッフへの意識付けが大切である
- * 年に1回の5S学習
- * 病院全体で取り組み成果発表会を行う
- * 担当を明確にし責任を持ってもらう

7G

- * 役割を決める
- * 業務終了時の片付けを行う
- * 元の位置に戻す
- * 迷ったら捨てる

8G

- * 言いにくい環境を作らず
全員参加で取り組める体制をつくる
- * 目標を朝みんなで声に出して言う
- * まずは危険なところから取り組む

9G

- * 常に「あっ！」と試してみる視点
- * 誰でも出来るシステム作り、環境作りが大切
- * 新しい人の意見が通りやすい職場環境

10G

- * 継続が大切
そのために、講義や勉強会をもつ
- * トップ・リーダーが5Sを意識する
- * 役割分担の明確化
- * 周知徹底

5S活動は職場の改善活動